

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目名	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
1 経常収益			
1 基本財産運用益	2,100	804	1,296
2 事業収益	238,712,918	240,270,744	△ 1,557,826
4 雑収益	6,949	25,979	△ 19,030
経常収益計	238,721,967	240,297,527	△ 1,575,560
2 経常費用			
事業費	236,939,124	245,562,757	△ 8,623,633
給料手当	37,175,681	36,692,485	483,196
法定福利費	11,500,703	11,068,051	432,652
臨時雇賃金	18,999,810	18,440,847	558,963
賞与引当金繰入額	3,599,000	3,624,000	△ 25,000
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	527,971	516,242	11,729
消耗什器備品費	1,791,635	2,979,813	△ 1,188,178
消耗品費	2,975,075	3,345,244	△ 370,169
修繕料	7,218,381	6,396,614	821,767
印刷製本費	115,663	107,400	8,263
燃料費	1,355,853	1,382,769	△ 26,916
光熱水費	29,701,338	32,518,401	△ 2,817,063
賃借料	8,627,543	9,018,539	△ 390,996
保険料	748,070	853,130	△ 105,060
諸謝金	451,726	419,744	31,982
支払手数料	556,989	752,535	△ 195,546
原材料費	1,460,132	1,317,436	142,696
租税公課	7,380,900	6,516,600	864,300
負担金	101,000	101,530	△ 530
委託費	102,651,654	102,667,837	△ 16,183
工事費	0	6,843,540	△ 6,843,540
管理費	1,938,390	1,902,448	35,942
役員報酬	695,200	688,400	6,800
給料手当	485,000	485,000	0
法定福利費	54,327	50,000	4,327
旅費交通費	11,400	11,430	△ 30
通信運搬費	4,000	0	4,000
消耗品費	6,000	2,206	3,794
光熱水費	15,000	0	15,000
支払手数料	12,457	7,989	4,468
保険料	131,670	131,983	△ 313
交際費	4,376	6,480	△ 2,104
租税公課	20,000	20,000	0
委託費	498,960	498,960	0
経常費用計	238,877,514	247,465,205	△ 8,587,691
当期経常増減額	△ 155,547	△ 7,167,678	7,012,131

2 経常外増減の部			
1 経常外収益	0	0	0
2 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期経常増減額	△ 155,547	△ 7,167,678	7,012,131
法人税等支出	153,100	133,400	19,700
当期一般正味財産増減額	△ 308,647	△ 7,301,078	6,992,431
一般正味財産期首残高	7,395,561	14,696,639	△ 7,301,078
一般正味財産期末残高	7,086,914	7,395,561	△ 308,647
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,100	861	1,239
一般正味財産への振替額	△ 2,100	△ 804	△ 1,296
指定正味財産期首残高	40,000,000	40,000,000	0
指定正味財産期末残高	40,000,000	40,000,000	0
III 正味財産期末残高	47,086,914	47,395,561	△ 308,647

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金：

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	40,000,000	0	0	40,000,000
合計	40,000,000	0	0	40,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(内指定正味財産 からの充当額)	(内一般正味財産か らの充当額)	(内負債に対 応する額)
基本財産 定期預金	40,000,000	(40,000,000)	(0)	—
特定財産 公園内工事費用積 立資金	0	(0)	(0)	—
合計	40,000,000	(40,000,000)	(0)	—

4. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,624,000	3,599,000	3,624,000	0	3,599,000
合計	3,624,000	3,599,000	3,624,000	0	3,599,000

【附属明細書の作成について】

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。

